

(別添3)

**【智頭町】**  
校務DX計画

令和6年12月26日付6初情教第10号「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果(速報値)について(通知)(以下「実施結果」という。)の別紙6参考資料2「教職員の働き方の改善に対する効果実感が特に高かった項目(学校)」の中で、本町において達成率が低い下記1～7の項目及び特に取り組むべきと考える項目について、重点的に取り組む。

1. 学校から保護者へ発信するお便り・配布物について  
教育委員会から学校への働きかけを行うほか、外部から学校への配布依頼を減らすために教育委員会から保護者への直接配信についても検討する。
2. 保護者から学校への提出資料について  
提出資料を精査し、クラウドサービスを用いて提出できる資料の種類を増やす。
3. 児童生徒への各種連絡について  
町内の達成率が高い学校の手法を参考にして、町内全体での達成率を向上させる。
4. 職員会議等の資料のペーパーレス化について  
町内の達成率が高い学校の手法を参考にして、町内全体での達成率を向上させる。
5. 学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等の共有について  
全くしていない学校があるので、町内で実施している学校の手法を参考にして、まずは取組をスタートさせる。
6. 教職員が作成した教材等の共有について  
町内の達成率が高い学校の手法を参考にして、町内全体での達成率を向上させる。
7. 生成AIの校務での活用について  
実施結果別紙6参考資料3の取組事例を参考にしながら、教育委員会と共に生成AIの活用を推進する。
8. FAX・押印について  
原則廃止とする。
9. 校務支援システムへについて  
名簿情報の不必要な手入力作業を一掃するとともにクラウド化等による教員の働き方改革の実現に向けた検討を令和7年度より開始する。

なお、学校ネットワークは「児童生徒の教育の高度化、個別最適・協働的な学びの実現」及び「教員の働き方改革の実現」を目指し、令和6年度より再構築の検討を進めている。